2026年10月26日

組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および ＫＰＩ実績値の公表について

・当組合は、「組合員・地域の皆さまと共により良い未来をつくる」を経営理念として、「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献し、あわせて寄り添った事業活動展開のため、具体的な取組を実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

・また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客様が選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通KPI」）も同時に公表いたします。

（注）共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会（JA共済連）が、共同で事業運営をしております。

高知県農業協同組合

Ⅰ.取組状況

1　組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組みサービスの提供

（1）信用の事業活動

【原則２本文および（注）、原則３（注）原則６本文および（注２、３、６、７）補充原則1～5本文および(注)】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な金融商品を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします
- なお、組合員・利用者の皆さまの最善の利益の実現につながる取組として、2025年度以降、金融商品を組成する投資運用会社との情報連携を開始しております。

＜投資信託の取扱い商品ラインナップ（2026年3月末時点）＞

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 （前年度末：0）	4 （前年度末：0）
株式型	4 （前年度末：2）	10 （前年度末：1）
REIT型	1 （前年度末：0）	2 （前年度末：0）
バランス型	9 （前年度末：0）	

※　現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

Ⅰ.取組状況

1　組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

（２）共済仕組み・サービス

【原則２本文および（注）、原則3(注)、
原則６本文および(注2、3、６、７)、補充原則1～5本文および(注)】

・当組合は、『農業協同組合が理念とする「相互扶助」の精神を原点とし、「必要な方に必要な保障を提供」していくことにより、組合員・利用者の信頼と期待に応え、豊かな生活・地域づくりに貢献をする』共済事業理念のもと、実践を通じて、最良・最適な共済仕組み・サービスを提供しております。

・住宅価格の高騰により連帯債務の住宅ローン利用者が増加したことを受けて、団体信用生命共済において従来よりも手厚い保障が可能となる連生タイプの取扱いをおこなっております。

・市場リスクを有する共済仕組みの提供は実施しておりません。

・令和7年度の総合満足度は95.2%となっております。（JA共済利用者満足度調査）

・なお、共済事業については、全国共済農業協同組合連合会と共同で事業運営を実施しており、組合員・利用者からの声や契約情報等について相互に連携しております。

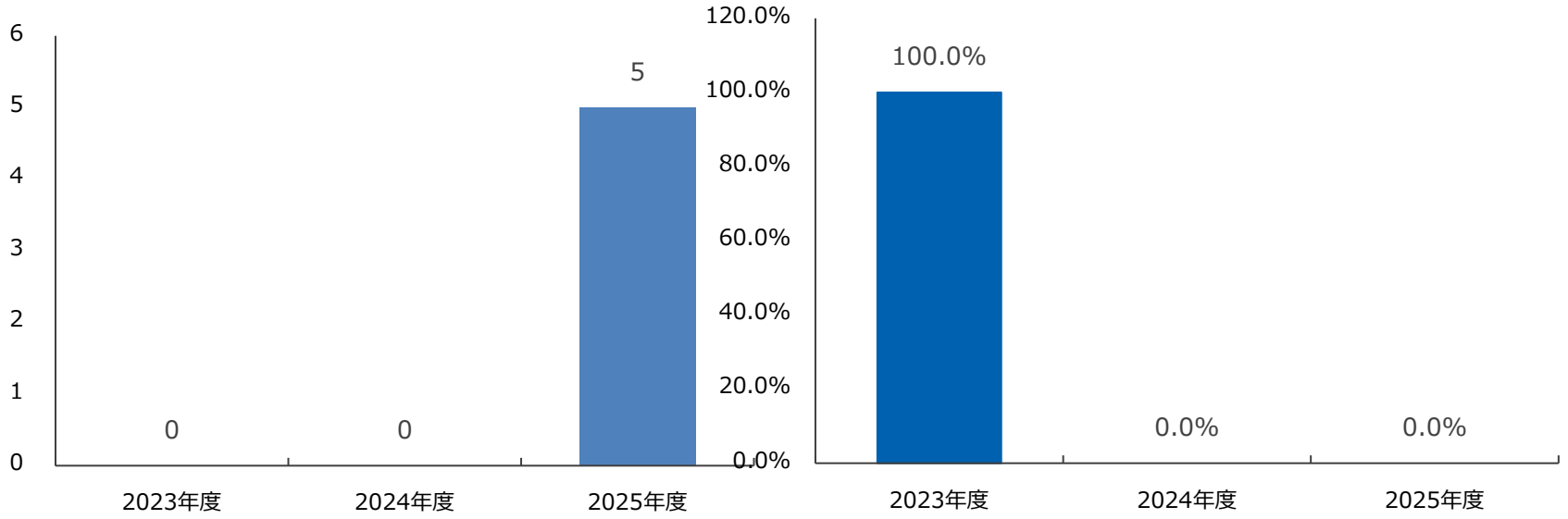
2　組合員・利用者本位の提案と情報提供
（１）信用の事業活動

【原則２本文および（注）、原則５本文および(注１～５）、
原則６本文および（注１～７）】

- 利用者との対話を重視し、金融知識・経験・財産・ニーズや目的に合わせて、利用者にふさわしい商品をご提案いたします。
- 利用者の投資判断に資するよう、利用者のリスク許容度に応じた商品のリスク特性・手数料等の重要な事項については、各種パンフレット等を用いて丁寧かつ分かりやすく説明し、必要な情報を十分にご提供します。

＜投信つみたて契約件数の推移＞

（件）



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞

2　組合員・利用者本位の提案と情報提供
（２）共済の事業活動

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・２・4・５）】

①　共済仕組み・サービスのご提案

・共済仕組み・サービスの提案にあたっては、保障設計書やタブレット端末機を使用し、分かりやすい説明を心がけ組合員・利用者の皆さま一人ひとりのご意向を適切に把握しております。

・ニーズに合致したと思われる共済仕組み・サービスについては、重要事項説明（契約概要・注意喚起）を実施し、注意喚起情報のうち、特に重要な事項は口頭で説明のうえ交付するなど、ご確認いただきたい事項や不利益情報を分かりやすく説明しております。

②　情報提供

・保障内容を十分に理解・納得いただいたうえで、重要事項説明書や保障見直し設計書等により、充分な契約内容のご説明、その他公的保険制度等の適切な情報提供をおこない真に満足いただける取組みを実施しております。

2　組合員・利用者本位の提案と情報提供
（２）共済の事業活動

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・２・4・５）】

③　契約締結時の対応

・意向確認書を使用して意向把握・確認を行い、意向確認欄の各事項で再確認後、意向確認書（控）を交付し、ご提案した共済仕組み・サービスが組合員・利用者の皆さま一人ひとりのご意向に沿ったものであるかを確認しております。

④　高齢者対応

・ご高齢の組合員・利用者（70歳以上）の方については、ご家族も含め十分ご納得、ご満足いただけるよう、提案説明時、契約締結時には、ご親族に同席をお願いする等よりきめ細やかな対応を行っております。

・令和7年度における高齢者対応においては、ご親族等の同席もしくは、ご親族さまに電話連絡による確認をおこなった割合は95%になります。
なお、令和7年度から「共済契約のお手続きに関するご案内」をお渡しし、ご契約者さま・被共済者さまだけでなく、ご親族の方にもご安心いただけるよう努めております。

2　組合員・利用者本位の提案と情報提供
（２）共済の事業活動

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・２・4・５）】

⑤　各種手続きとアフターフォローの実施

・各種手続きの実施にあたっては、組合員・利用者の皆さまに分かりやすくご説明しております。
・将来、ご自身によるお手続きが困難になった場合の備えとして、「指定代理請求人」にご家族を指定いただくことをご案内しております（生命総合共済の場合）。
・令和５年度からは支払い請求手続きの簡素化を推し進めるなど、組合員・利用者の皆さまの利便性向上に向けて取り組んでおります。
・デジタル技術（Webマイページ）等を活用した、契約確認、各種変更手続き、入院・手術共済金請求など、お手続きを順次拡充し、利用の拡大に取組んでおります。
・ご加入後も、「３Q訪問活動」による「近況・ご加入内容・請求漏れの確認、保障点検」といった「あんしんチェック」を実践するなど、組合員・利用者の皆さまに寄り添ったアフターフォローを実施しております。
・保障の加入にあたり、共済掛金の他に組合員・利用者の皆さまにご負担いただく手数料等はございません。

3　利益相反の適切な管理

【原則３本文および（注）】

・組合員・利用者の皆さまの利益を不当に害することがないように、利益相反管理方針に基づき、適切に管理しております。

・営業部門から独立した利益相反管理統括部署を設定のうえ、利益相反のおそれのある取引を特定し利益相反を管理しております。

・以下の観点で利益相反のおそれのある取引を類型化し、効率的に管理することで、遺漏なく利益相反取引を検知する体制を整えています。

①利用者と当組合との利益相反（自己取引類似型）
②利用者相互間の利益相反（双方代理類似型）
③当組合が利用者との関係から得た情報の不当利用（情報不当利用型）

4　組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

【原則2本文および（注）、原則6（注5）原則７本文および（注）】

①　組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

当組合は、ニーズに沿った金融商品・サービスの提供および最適な保障提案ができるよう、社会保障や相続・税務知識の向上をはじめ、各種研修会で人材育成に努めるとともに、FP資格取得など外部資格の取得を推奨することにより、高度な専門性を有する人材を育成し、組合員・利用者本位の業務運営を実現するための態勢を構築しております。

②　組合員・利用者の皆さまの声を活かした業務改善

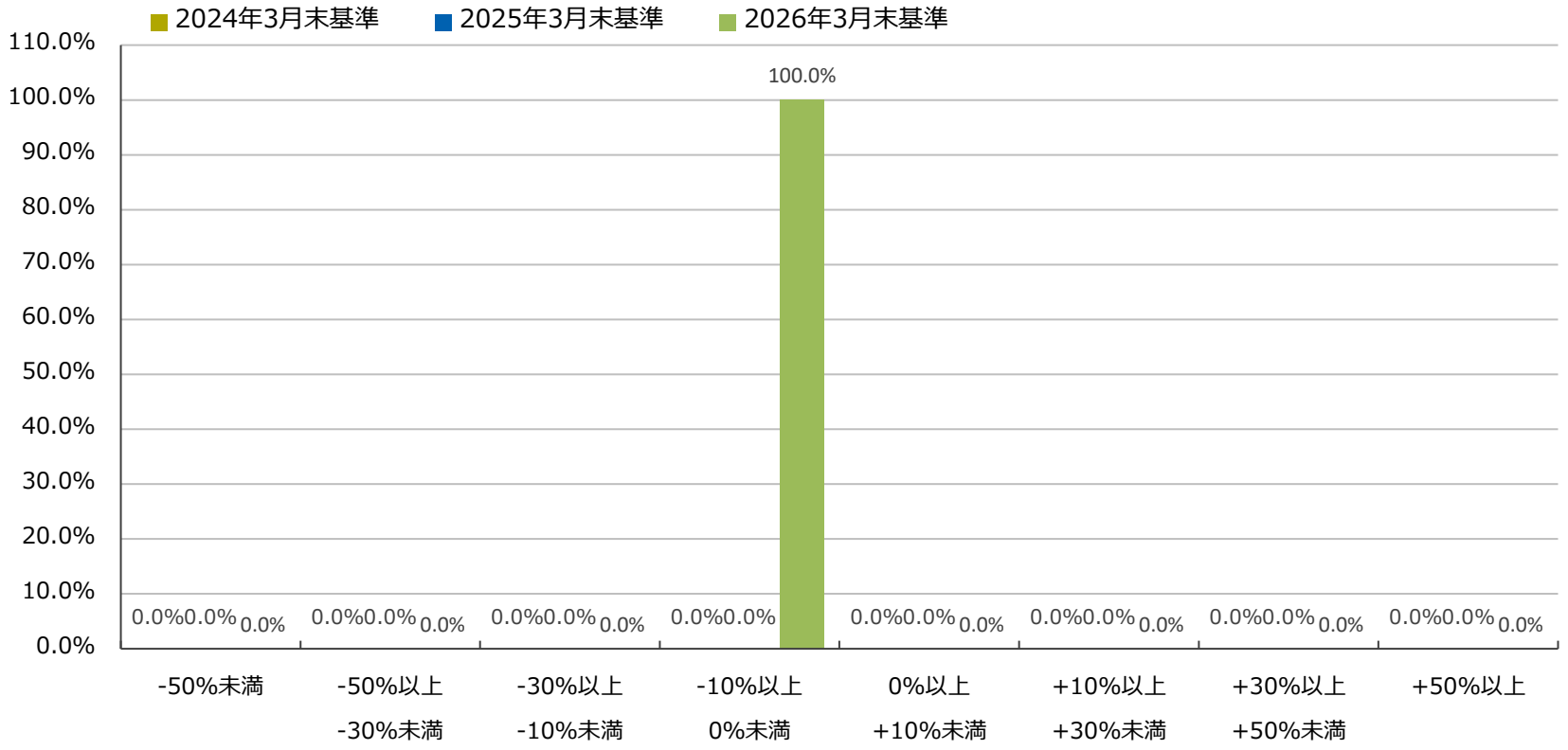
当組合は、組合員・利用者の皆さまからいただいた、お問合せ、ご相談、苦情などの声を今後の信用・共済事業に活かすため、JAグループ高知で情報を共有し業務改善に努めています。

また、「JAバンク利用者満足度調査」、「JA共済利用者満足度調査」の結果を随時確認し、より良いサービスの提供に努めてまいります。

Ⅱ.比較可能な共通ＫＰＩ

1　運用損益別顧客比率（投資信託）

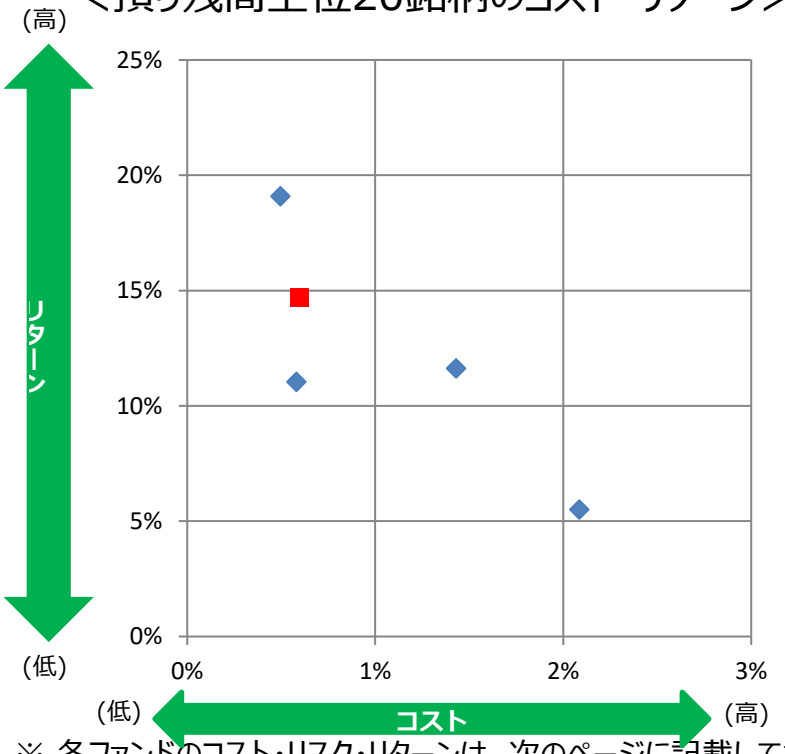
- 2024年3月末および2025年3月末時点の取扱いはありません。



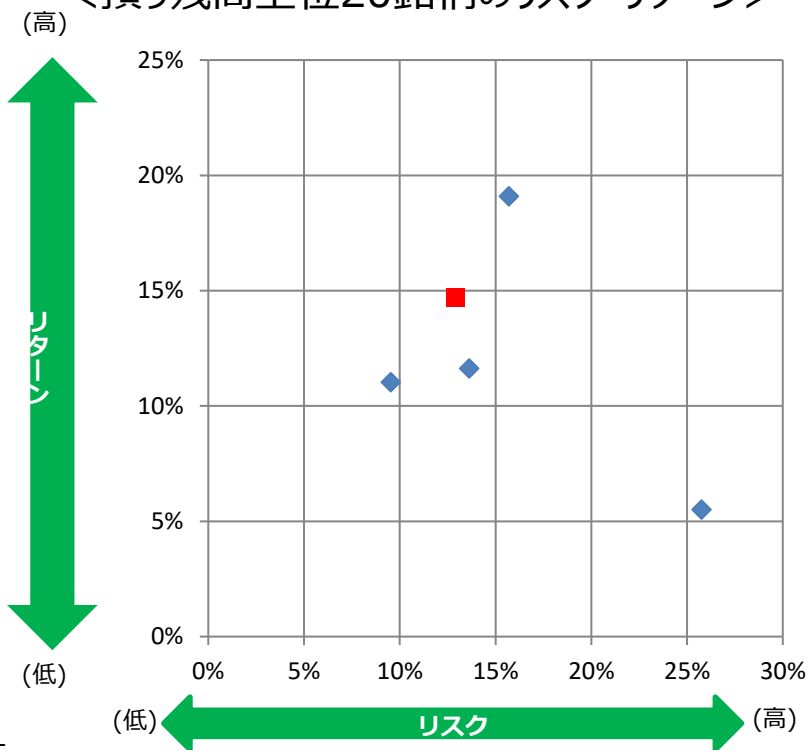
2　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（２０２６年３月末）

- 2026年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.60%、平均リスク12.93%に対して、平均リターンは14.70%でした。
- 2024年3月末および2025年3月末時点の取扱いはありません。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通ＫＰＩ

3　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2026年３月末）
※2024年3月末および2025年3月末時点の取扱いはありません。

	ファンド名	運用会社	リターン（年率）	リスク（年率）	コスト全体
1	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信（株）	11.04%	9.52%	0.58%
2	つみたて米国株式　Ｓ＆Ｐ５００	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	19.09%	15.70%	0.50%
3	長期厳選投資　おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	11.63%	13.63%	1.43%
4	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント（株）	5.51%	25.75%	2.08%
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		14.70%	12.93%	0.60%

※ 2026年３月末基準時点における共通ＫＰＩの対象となるファンド数は4本となります。
※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。